

【総務省／NTT】 デジタルインフラ関連政策と IOWN を活用したデータセンタ間接続

講師

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課 課長 恩賀 一 氏
日本電信電話(株) NTT 未来ねっと研究所 フロンティアコミュニケーション研究部
部長 主席研究員 博士(工学) 高杉 耕一 氏

日時 2025年2月5日(水) 午後1時30分～4時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. データセンター等のデジタルインフラ整備に関する総務省の取り組み 恩賀 一 氏 【13:30～14:40】

動画トラフィックの急増やクラウド化、近年においてはAIの導入・進展等に伴い、データセンターや海底ケーブルといったデジタルインフラの需要は世界的に増加が継続している。国内においては、地方におけるデジタル実装など今後のデータ需要の高まりと相まって、データセンター等のデジタルインフラの重要性は今後一層増大すると考えられる。

「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合中間とりまとめ 3.0」(2024年10月)等、総務省におけるデジタルインフラ整備の取り組みを説明する。

1. デジタルインフラを取り巻く概況
2. 我が国のデジタルインフラの現状と課題
3. 総務省の取り組み
4. 質疑応答／名刺交換

II. IOWN APN を活用したデータセンタ間の光波長パス自動接続技術 高杉 耕一 氏 【14:50～16:00】

AIを活用したサービスの普及に伴い、データセンタ需要が急増しています。これまで都市部に集中していたデータセンタに対し、電力やインフラスペースが豊富で災害リスクを分散できる郊外への移転が進んでいます。しかしながら、従来のデータセンタ間通信(DCI)は1対1のシンプルなトポロジーで、かつ単一ベンダ・単一伝送モードで装置を構成するため規模拡張性に乏しく、データセンタの分散化を大規模に進めることが困難でした。

そこで、需要に応じて多数のデータセンタ拠点間を接続するデータセンタエクスチェンジ(DCX)のサービス実現に向け、研究開発をおこなってきました。本セミナーでは光伝送品質を推定し、マルチベンダの装置を制御することで、オンデマンドにデータセンタ間を光波長パス接続する技術及びAIインフラをマルチデータセンタで構築するためのトランスポート技術について、最新の取り組みを紹介します。

1. IOWN オールフォトニックネットワークアーキテクチャ
2. 光伝送装置のオープン化と遠隔制御技術
3. 光波長パスを自動設定する光ネットワークデジタルツイン技術
4. 超広域分散コンピューティング向け確定遅延トランスポート技術
(RDMA over APN, 耐量子セキュリティ)
5. IOWN Global Forum の取り組み
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 恩賀 一(おんが はじめ)氏

2001年4月 総務省入省、NISC(内閣官房情報セキュリティセンター(当時))参事官補佐、外務省在タイ日本国大使館一等書記官(ICT・デジタル政策、科学技術・イノベーション政策、インフラプロジェクト専門官(宇宙インフラ担当))、総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課統括補佐、同総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課安全・信頼性対策室長、個人情報保護委員会事務局企画官、総務省情報流通行政局情報流通振興課情報流通適正化推進室長などを経て2024年7月より現職。

PROFILE 高杉 耕一(たかすぎ こういち)氏

1997年 日本電信電話株式会社 NTT ワイヤレスシステム研究所入社、以来、無線通信・ネットワーク アーキテクチャ・光伝送網の研究に従事。2004年 博士(工学)取得。2008年～ NTT サービスインテグレーション基盤研究所にて、ネットワークアーキテクチャSE及びITU-T・ETSI等の標準化活動に従事。2014年 東京大学医学部付属病院研究員にて、糖尿病のAI診断の研究に従事。2015年～ NTT ブロードバンドプラットフォーム株式会社にて、オリンピックを見すえた大規模スタジアムにおける高密度Wi-Fi設計・導入を担当。2018年～ 日本電信電話株式会社研究企画部門担当部長。2020年～ 現職、大阪大学情報科学研究科産学連携教授、日本ダンススポーツ連盟準強化選手。

●受講料 各受講方法 1名につき 27,500円(税込)
 ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。

●お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。
 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)
 ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。

●お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
 可能な限り講義に盛り込んでいただきますので受講証に同封の用紙でご連絡下さい。

■ライブ配信について
 <1>Zoomにてライブ配信致します。
 <2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について
 <1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
 <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

2月5日(水)		「デジタルインフラ政策と IOWN を活用した DC」		申し込み日	月	日
貴社名						
所在地	〒					

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカ ^ナ 氏名	所属部署・役職				
TEL	() -	FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカ ^ナ 氏名	所属部署・役職				
TEL	() -	FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mail アドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]
 セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
 ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
 ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
 ※上記お申込フォームに、ご郵送先(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金

■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。25070-I

